

これであなとも石博士！？

小学校第 6 学年に「土地のつくりと変化」という単元があります。ここでは堆積岩が主に扱われていますが、落ちていた石を見ただけで堆積岩か火成岩かを識別できたらおもしろいと思いませんか？ここでは、小学生でもできる石の見分け方をご紹介します。

■ 石に名前をつけよう

みなさんは図 1 の石をどのように分けますか？色、手触り、においなど、いろいろな方法で分けることができますね。（石は割ったものなので、形は含めないことにします）次に、分けたグループに名前をつけてみましょう。例えば、「灰色で、スベスベで、粉っぽい石」と思ったら、「ハイスベコナ石」のように、石の特徴を生かした名前をつけます。その他にも、「キラキラ石」や「チョーク石」といった名前も見られました。オリジナルの名前を石につけてみましょう！！



図 1 堆積岩や火成岩

■ 石博士になるためのコツを伝授！！

①キラキラしているか、していないか

じつは、石に名前をつける際に生かした特徴は、堆積岩と火成岩を見分けるポイントになります。石を持ち、明るいところで光を受けるように動かしてみましょう。何かキラキラしているものがありますね。これは「鉱物」です。鉱物が含まれている石は火成岩…つまり、「キラキラ石」は火成岩なのです！！

②においをかいでみよう

同じ石を両手に持って、こすり合わせてみましょう。堆積岩はこれといった特徴はありませんが、火成岩は火山のにおいがするものがあります。「火山のにおいでなんだ」と思ったそのあなた…チャレンジしてみましょう！！

■ 授業で使えるアイテム

100 円均一ショップには、図 2 のようなプラスチック製のケースが売られています。児童の人数分のケースを購入し、いろいろな石を入れて、配付します。さあ、問題です…堆積岩と火成岩に分けてみよう！！このような容器があれば、指示する際や答え合わせをする際に非常に便利です。



図 2 石を入れるケース